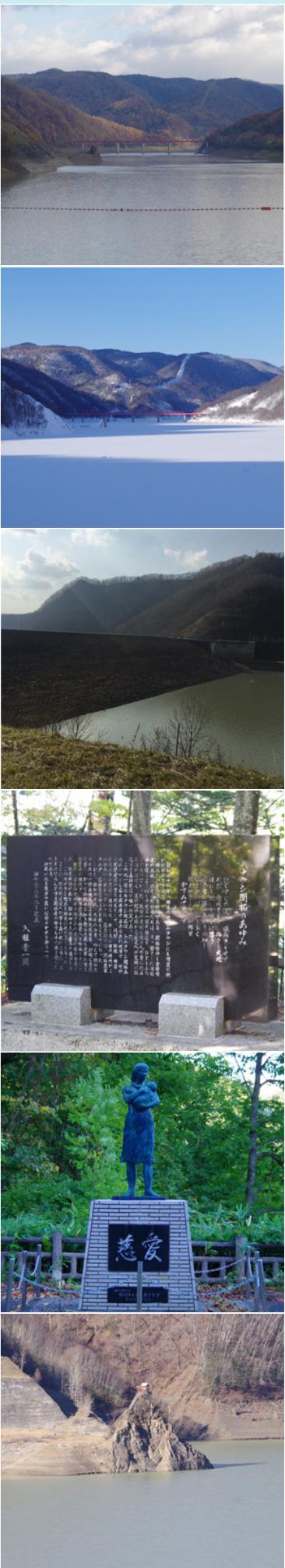


キナウシ地区



十勝ダム④は、十勝川の治水と水力発電を目的とした十勝川水系最大ロックフィルダムです。昭和42年に道開発局によりキナウシ地区に建設計画が立てられ、48年に着工、11年の年月と534億円を費やし昭和59年に竣工しました。

昭和58年に着工し、60年に竣工した**十勝発電所⑤**は最大出力4万kWを発電。発電所は予約により見学が可能です。

ダム建設にあたり出現した人造湖は、住民アンケートにより東大雪湖と名付けられました。昭和58年、道道忠別清水線の付け替え工事が行われ、東大雪橋、トムラウシ第一・第二トンネルなどが新たに建設されました。東大雪橋は十勝川水系最長の橋で、中央部の橋脚は1基3億円といわれ、大きな話題となりました。この道路付け替えによりかつての難所念仏峠越えの道は湖底に沈み、東大雪湖畔には**十勝ダムキャンプ場B**や開拓記念公園、キナウシ開拓記念公園が建設されました。開拓記念公園には追憶碑「**キナウシ開拓の歩み**」5、母子の像「慈愛」がたち、ダム建設により水没した開拓農家の追憶が刻まれています。湖内にはダム湖周辺の安全を祈願し、新たに貴名牛神社が祀されました。**貴名牛神社⑥**は開拓入植が始まってまもなく、キナウシ地区の鎮守として祀されました。社殿は昭和37年に開校した富村牛小学校下富村牛分校(昭和51年廃校)として利用され鳥居のある学校として話題となりました。その後のダム建設とともに廃止されたましたが、昭和58年、湖内の赤岩に移築奉納されました。キナウシ地区はかつてヒグマやエゾシカの通り道でした。ダム湖ができる現在も山の斜面にエゾシカの群れが見られます。10月には広葉樹の紅葉が湖を覆います。

百間棚・千間棚

電源開発が始まる以前、ベンケキナウシ川の対岸は十勝川へ突出した岩場となっていました。南側の岩場は百間棚、北側の大岩稜帯は千間棚と呼ばれ、冬期は絶えず雪崩の危険にさらされていました。念仏峠とともにトムラウシへの道の最大の難所でした。

念仏峠

かつてイロネウシ川と十勝川本流の合流は、70mにも及ぶ断崖となっていました。開拓時代、この断崖の岩盤を碎いて馬がやっと通れる道が付けられました。しかし、馬車は通れず馬の背に荷物を振り分け、念仏を唱えながら人が行き来したといわれています。森林鉄道もこの峠付近を越えていました。

大畠技官殉職之碑⑦

昭和26年、森林鉄道の建設関係車輌と資材運搬車輌が衝突事故を起こし、技官1名が殉職しました。現場付近に建てられた石碑は、ダム建設時にイロネウシ林道沿いの高台に移設されました。



岩松地区



岩松ダム⑥は、十勝川水系の電源開発を進めるために建設された十勝川本流最初のダムです。昭和13年、日本の電力需要を統制する目的で設立された日本発送電が道内で初めて建設を試みたのが岩松発電所でした。戦時下の制約された条件下での難工事であったため、仮設吊り橋の落下や水路決壊などの事故により多くの犠牲者⑧を出しました。昭和17年、最大出力12,600kWの発電が開始され、道東産業の発展に大きな役割を果たしました。現在は北海道電力により最大出力16,000kWの**新岩松発電所⑦**として操業しています。ダム建設によって塞き止められた十勝川の水は岩松湖となり、湖畔に迫る木立は湖水に映え、紅葉の夕暮れ時などは神秘的で幻想的な光景をつくりだします。当初はイトウやアメマス、イワナなどの釣場として知られ、現在はカモや白鳥の群れが見られます。

岩松発電所建設により、辺境の地であった岩松地区には従業員官舎が立ち並び、明治43年に創立した**岩松小学校⑨**の生徒数は、昭和14年には128名にものぼりました。当時小学校前には、大正15年に開設された**ベンケ澤(岩松)駅通所⑩**(昭和18年廃止)もあり、地域住民と人の往来で岩松地区はたいへん賑わっていました。その後は過疎が進み、小学校の生徒数は6名まで減り、昭和51年に廃校となりました。校舎は新得町郷土研究会等により保存活動が続けられています。

岩松の名水 C

道道よりベンケニコロベツ林道を約2km入ると半壊した水場があります。こんこんと流れ出る水はベンケ山腹から湧く美味しい水です。南に対峙する**パンケ山** Bは屈足平野のシンボルマークです。

TOM(とかちアウトドアメイツ)D TACさんとともに十勝のアウトドアアクティビティを牽引しています。十勝川でのラフティングや渓流釣り、屈足湖でのカヌー、冬期のサホロ湖でのワカサギ釣りなど、体験メニューは豊富です。

中土場

現在の上岩松発電所南側の区域。王子製紙による森林開発の時代は、上流より流送されたパルプ用材の水切り集積場でした。その後は、王子製紙の下請け業者中村組の造材基地、森林軌道の拠点となり、森林鉄道建設後も駅土場として森林開発の重要な中継基地となりました。